

## 『大大阪市名勝パノラマ地図』

大正 14 年 清水吉康（著） 金尾文淵堂 52×73 cm 関西大学図書館蔵

添書は「大正十四年四月一日改正 附大大阪百景近畿遊覧地図 新編入町名入」となっている。著作者の清水吉康は、大正 3 年『営業者案内地図』の作者である。

区別に色分けし、見所のイラストを入れたパノラマ地図である。堺市にも名所と鉄道線が書かれている。周辺に「名勝百景」と題した、堺市を含む合計 106 個の名勝イラストがカラーで印刷されている。地図には名勝ばかりでなく、学校も記載され、関西大学（福島学舎）、大阪高等学校（高等学校）、田辺聖子が学んだ淀ノ水女学校、プール女学院、天王寺女学校、阿部野女学校、大谷女学校、梅花女学校、桃山中学、天王寺中学校、生野中学校、住吉中学校などの名前と、一部建物が書かれている。一方、北野、市岡、今宮などは建物が書き込まれているが、「中学校」としか表記されていない。通天閣のイラストはあるが「新世界」のみ、「名勝百景」でも通天閣のイラストには「新世界」となっているのみで、「通天閣」は使用されていない。その他、道頓堀には五座の建物と座名が書かれ、飛田には「遊郭」、天下茶屋聖天山南側には「遊園地」がある。中之島の先は天神橋を超えている。

周辺地域を編入して「大大阪」となったものの、周辺の住吉区、東成区、西成区、東淀川区、西淀川区は、広々とした空間となっている。住吉区では我孫子町、阿部野町、北田辺町、中野町に住宅が集まり、平野は大念仏寺を中心に東端に大きな集落を形成している様子がわかる。大阪城から南西へ向かっての上町台地上には、多数の寺院があり、飛田、阿部野墓地、聖天山、帝塚山へと連なり、南端に住吉神社が位置する様子もわかる。阿部野を過ぎると緑で示される部分が増えてくる。そして、木津川沿い、堂島川沿いに工場の煙突が多数描かれるのも、「煙の都大阪」をよく表している。川口あたりまでの堂島川には、大きな船が多数描かれている。

鉄道に目をやると阪急神戸線は「阪神急行電車」、京都線は「新京阪線」、宝塚線は「阪神急電支線」となっており、千里線はまだない。京阪は「京阪電車」、阪神は「阪神電車」となっている。

裏面は「近畿遊覧地図」で、東は名古屋から志摩、北は敦賀から鳥取、西は岡山、南は和歌山の湯浅から三重の尾鷲で、淡路島と高松、徳島の一部の鉄道、道路が書かれ、主要な名所、山などが書き込まれている。こちらは、茶色インクの一色刷りである。



